

テクノロジーを活用し海外進出 清掃・伝統建具・福祉の多角経営

『NBSマネジメント』の社名には、「次世代のビジネスとサービスを創出する」という思いが込められている。武田代表は、旧態依然とした清掃業界の体質に疑問を抱き、ケミカル剤の検討やAIロボットの導入により、大幅なコスト削減と品質向上を実現してきた。その事業は清掃業にとどまらず、実家の建具店との事業統合を通じて日本の伝統技術を海外へ発信するなど、業界の枠を超えて新たな価値を創造し続けている。



代表取締役
武田 康介

女優・タレント
及川 奈央

デジタル化の脅威から起業 清掃業でテクノロジー導入

及川 設立10期目と聞きました。まずは、どのような会社なのか教えてください。

武田 基本的には商業施設や店舗などの夜間清掃、特に大型空調や厨房などの専門的なメンテナンスを行っています。清掃業にとどまらず、「次世代(Next)のビジネス(Business)とサービス(Service)を創出したい」という思いから、頭文字を取って『NBSマネジメント』という社名にしました。

及川 元々は全く別の業界にいたのですか。

武田 はい。17歳で上京し、独学でデザインソフトを習得して、フリーランスでCDジャケットや電車のステッカー広告の制作をしていました。しかし、デジタル化の波に将来への危機感を覚え、自身の夜型の生活にも合う夜間清掃の仕事に関わるようになりました。

及川 その後、起業をされたのでしょうか。

多彩な経歴が人材を育て 福祉・音楽事業にも発展

及川 働き方や人材育成についても独自のお考えがあるそうですね。

武田 社員からアルバイトまで多様な人材がいますが、二方向的に考えを押し付けるのではなく、二人ひとりの個性や適性を見極めて寄り添うことを大前提にしています。また、複数の分野で活躍する「スラッシュキャリア」を推奨しており、アルバイトから執行役員に抜擢した女性スタッフには、「YouTuber」としての活動や商談なども任せているんですよ。

及川 一つの枠にとられないのですか。武田社長ご自身の多彩な生き方が、そうした柔軟な対応や発想につながっているのでしょうか。

武田 そうかもしれません。私は元々音楽が好きで、本気で音楽をやるために高校を中退して単身で上京したことがあります。バンド活動である賞を受賞し経験も。しかし、当時は事情が重なって音楽制作を二度休止しましたが、将来的には音楽制作事業として、音楽を再開したいという夢もあります。

及川 最後に、今後の展望をお願いします。

武田 福祉事業について、ただ入所するだけではなく、気の合う仲間同士でシェアハウスのように集まり、最期まで心を通わせて過ごせるような新しい形を模索しています。

及川 清掃業から建具、そして福祉まで。テクノロジーを活用しながら多分野に挑戦を続ける武田社長の姿勢に、大きな可能性を感じました。これからの展開にも期待しています。

海賊の末裔とブランディング 伝統建具の海外進出

及川 長い歴史を持つご実家の建具店とも経営統合されたのでしょうか。

武田 私のルーツである広島県尾道市で、終戦の2年前に生まれた父が立ち上げた事業です。現在は弟が職人として働いています。この仕事をしっかりブランディングし、海外展開できないかと考えたのです。ある日、家系図や家紋を



職人の手で丁寧に仕上げられる日本家屋の一部となる建具。黒シャツに白パンツで統一したスタッフ。現場前に立つ姿から、丁寧な仕事ぶりが伝わる。

調べたところ、私たちが瀬戸内海で活躍した戦国武将の末裔であることが分かってきました。

及川 その背景は海外の方に響きそうです。

武田 この歴史的なストーリーと、職人が一枚の木から加工して作る生ものの和風家具や仏壇といった伝統技術を組み合わせ、本当に価値のあるフルオーダーメイド製品として海外に発信していく構想です。

及川 素晴らしいですね。ただ、海外展開となると、採寸やデザインのやり取りはどのように工夫されているのですか。

武田 独自のアプリを使い、写真を撮るだけで寸法が分かるようにしています。さらに、デジタル上でデザインを当てはめて完成イメージを共有できる仕組みも整えています。これによって、日本文化に興味を持つ世界中の幅広い方々に、本当に価値のある製品を確実に届けることができます。



東京都豊島区東池袋2-20-9 OSサンプラザビル2F
Mail. contact@nbsm.co.jp
https://nbsm.co.jp

Column

本格的に音楽を志し、17歳で単身上京した武田代表。母の死をきっかけに長く音楽活動を休止していたが、そのつらい経験が「目の前のことに踏ん張れるようになった」という強い覚悟につながったという。一度手放した夢の続きを、いつか再び形にしたいと語るまっすぐな思いが、現在の力強く、アイデア豊富な経営の原動力になっている。

Point

かつてデザイン業でデジタル化の波に危機感を覚えた経験が、清掃業でのAIロボット導入や、建具の採寸アプリといった現在の事業にもつながっていることに驚かされた。これまでの多彩な経験が一本の線で結ばれ、革新的な事業展開へと結実している点が印象的でした。

